

日本フィンランド外交関係樹立100周年記念

# ムーミン展

## THE ART AND THE STORY

ムーミンや作者のトーベ・ヤンソンについて教えてください。

ムーミンの世界へようこそ



タンペレ市立美術館&ムーミン美術館  
タイナ・ムッリハルエ 館長

ムーミンの生みの親 トーベ・ヤンソン

フィンランドの画家で作家のトーベ・ヤンソン（1917~2001）は、第二次世界大戦後にムーミンを誕生させました。トーベは戦争を憎み（憎まない人はいないだろう）、逃れたいと思いましたが、戦争や暴力のない、さまざまな生き物が調和して生きられる世界を創造しました。彼女は生き生きとした緑の谷、静かな隠者から騒々しい子どもたちまで、さまざまな生き物や家族のキャラクターに満ちたムーミン谷を本の中で作り上げました。甚大な災害からパーティーのような楽しさまですべての生き物たちが喜びや悲しみを分かち合い共生する物語を描きました。

トーベの人生も物語のようです。芸術一家に育ったトーベも芸術家となりました。自身は画家を志向していましたが、作家やイラストレーターとなったことで、画家としての活動はほとんどできなくなりました。1950年代ムーミンは人気を博し、トーベは絵を描く時間がなくなり作家としての活動を諦めざるを得なくなったのです。幸いなことにパートナーのトゥーリッキ・ピエティラと出会い、ムーミンの制作を続けながら、二人はクルーヴハル島で時間を過ごすようになりました。多くの立体模型を制作し、膨大なムーミンのオリジナルイラストと共にタンペレ市に寄贈しました。

### 世界で唯一のムーミン美術館

こうしてタンペレ市は素晴らしい宝物を手に入れました。トゥーリッキの弟で、フィンランドの有名建築家レイマ・ピエティラが設計したタンペレ中央図書館内に「ムーミン谷」美術館が開館したのです。そして2017年、スカンジナビア最大の会議文化センターであるタンペレホール内に「世界でひとつのムーミン美術館」としてリニューアルオープンしました。

ムーミン美術館は、フィンランドの建築家タイナ・ヴァイサネンによって設計されました。ヴァイサネンは、埼玉県に3月16日にオープンしたムーミンのテーマパーク「ムーミンバレーパーク」の最寄り駅である飯能駅の設計も担当しています。ムーミン美術館の主な目的は、トーベの本のような幻想的な世界を作り出すことです。それは、世界中のどこにもない空間です。美術館のドアを開くと自分がどこにいるのか、時も空間の感覚も忘れてしまいます。300点にもおよぶトーベのオリジナル作品と立体模型がメインとなった、トーベの世界に没入できる場所です。光、雰囲気、音、そして体験型の展示など、忘れることのない旅へといざないます。

### 世界中の人々に愛されたトーベ・ヤンソン

トーベ・ヤンソンは才能にあふれた作家であり、作家でありイラストレーターでもありました。また、勇敢な性格で、すべてにおいて自分らしいやり方を貫き通しました。暮らしは質素で、食事はとてもこだわっていました。ダンスとお酒も好きでした。自然をこよなく愛し、特に海についてはよく知っていました。トーベはまた、女性のパートナーと生活していることを公にした、フィンランドで初めての女性の一人です。彼女は特別な存在であり、私は賞賛しています。

トーベ・ヤンソンは、フィンランドはもちろんのことで、海外でも人気を博し、その後特に日本でも大人気になるなど、国際的に長年愛され続けているアーティストです。トーベの本は世界中で子どもから大人まで幅広い世代に愛されています。人々はトーベの物語の中のキャラクターに共感し、いやされます。トーベの物語は時代を超え、何度も読み返すことができ、飽きることはありません。



フィンランド・タンペレ市にある「ムーミン美術館」。トーベ・ヤンソンの本のような幻想的な世界が広がっている。



Photo:Jari Kuusenoja

大分で本展をご覧になる来場者に、メッセージをお願いします。

タンペレ市立美術館が、ムーミンキャラクターズ社と朝日新聞社と共催した今回の展覧会では、日本のみなさまにムーミン一家の話だけではなく、果敢で才能あふれる女性、トーベ・ヤンソンのことを知っていただく機会にもなることでしょう。また、ヨーロッパミュージアムオブザイヤーにノミネートされているムーミン美術館についてもご紹介できたらと思います。タンペレにある美術館にもぜひ一度足を運んでいただけたら幸いです。

1

### 世界でただひとつの「ムーミン美術館」からやってくる!

フィンランド・タンペレ市にある「ムーミン美術館」は、2017年に装いをあらたにリニューアルオープンしました。世界で唯一のムーミンの美術館で、約2000点もの作品を所蔵しています。本展では、同美術館からムーミン小説の原画やスケッチのほか、トーベがムーミン小説を手がける前に描いていたスウェーデン語系の風刺雑誌「GARM」の挿絵など、よりすぐりの作品がやってきます。



トーベ・ヤンソン（『ムーミン谷の彗星』挿絵）1946年、1968年（改作）  
インク・紙 ムーミン美術館



© Moomin Characters™

2

### ムーミンの小説、絵本から代表的なシーンを原画で紹介

ムーミンの小説は「小さなトロールと大きな洪水」「ムーミン谷の彗星」「たのしいムーミン一家」「ムーミンパパの思い出」「ムーミン谷の夏まつり」「ムーミン谷の冬」「ムーミン谷の仲間たち」「ムーミンパパ海へいく」「ムーミン谷の十一月」と9つ出版されています。本展では、9つ全ての小説からの代表的なシーンの数々や絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」の原画を紹介します。



トーベ・ヤンソン（イースターカード 原画）1950年代  
グワッシュ、インク・紙  
ムーミンキャラクターズ社



トーベ・ヤンソン（スナフキンスケッチ）制作年不詳  
インク・紙  
ムーミンキャラクターズ社

### キャラクターズ社所蔵のレクシオンも展示

形」ともいわれるアトリエ・ファアやイースターカード、アドベン銀行や新聞の広告なども！トローで手元に残っていた作品をターズ社保有の貴重なコレクションも並びます。小ムーミンとそのなかまたちがの多彩な表情にも出会うことができます。



トーベ・ヤンソン（スウェーデンの日報紙「スヴェンスカ・ダグブレードット」広告）1957年 印刷  
ムーミンキャラクターズ社

3

### ムーミン 貴重なコレクションも展示

「まぼろしのムーミン人」や「ユニのムーミンフィギュア」の原画、アドベン銀行や新聞の広告なども！トローで手元に残っていた作品をターズ社保有の貴重なコレクションも並びます。小ムーミンとそのなかまたちがの多彩な表情にも出会うことができます。



トーベ・ヤンソン（「フォーレニングス銀行」広告）1956年 印刷  
ムーミンキャラクターズ社

4

### 日本とフィンランドの記念のコーナーも

2019年はフィンランドと日本の外交関係樹立100周年。トーベは来日も果たしています。トーベが愛した日本を、写真資料やスケッチで紹介するほか、浮世絵とムーミンを並べて展示します。（浮世絵は複製版やパネルなどを展示します。）



トーベ・ヤンソン（『ムーミンパパ海へいく』挿絵）1965年  
インク・紙  
ムーミン美術館



歌川広重（名所江戸百景 大はしあけの夕立（複製 アダチ版））  
安政4年（1857） 大判錦絵

## ムーミン展 THE ART AND THE STORY

2019年6/29(土)~9/1(日) ▶大分県立美術館 1階 展示室A

【時間】10:00~19:00 ※金・土曜は20:00まで（入場は閉館の30分前まで）  
【料金】一般1,400(1,200)円、大学・高校生1,000(800)円、小中学生700(500)円 ※（ ）内は20名以上の団体料金 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI 無料（同伴者1名半額）、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者（1名）は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください 【問】大分県立美術館 Tel:097-533-4500

主催：ムーミン展大分展実行委員会、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館、TOSテレビ大分、朝日新聞社  
共催：大分合同新聞社  
協賛：NISSHA、大分日産自動車  
後援：フィンランド大使館、大分県、大分県教育委員会、NPO法人大分県芸術、TNCテレビ西日本、UMKテレビ宮崎、エフエム大分、大分ケーブルテレコム株式会社、月刊・シティ情報おいた  
協力：ライツ・アンド・プランズ、S2、フィンエアー、フィンエアーカーゴ

## 2019 コレクション展 II 「エコール・ド・パリと竹」

企画展「竹工芸名品展：ニューヨークのアービー・コレクション」の開催にあわせ、コレクション展IIでは大分の竹工芸を特集します。時代を超えて、伝統を継承し、新たな価値を創造する大分の竹工芸。そのヴァリエーション豊かな世界をご堪能ください。また洋画においては、1920年代パリに集った芸術家集団「エコール・ド・パリ」の絵画を多数ご紹介いたします。気品漂う絵画群をたっぷりとお楽しみください。



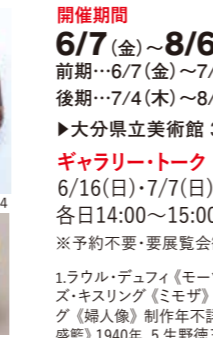
1



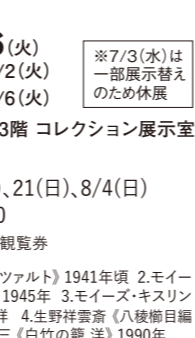
2



3



4



5

開催期間  
6/7(金)~8/6(火)  
前期...6/7(金)~7/2(火)  
後期...7/4(木)~8/6(火)  
▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室  
ギャラリー・トーク  
6/16(日)・7/7(日)・21(日)・8/4(日)  
各日14:00~15:00  
※予約不要・要観覧券  
1.ラウル・デュフィ《モーツァルト》1941年頃 2.モイズ・キスリング《ミモザ》1945年 3.モイズ・キスリング《婦人像》制作年不詳 4.生野祥雲斎《八椀櫛目編盛籠》1940年 5.生野徳三《白竹の籠 洋》1990年  
※7/3(水)は一部展示替えのため休展

## 2019 コレクション展 I 「没後10年 岩澤重夫に捧ぐー自然との対話」

日田市に生まれた日本画家・岩澤重夫（1927-2009）は、京都市立美術専門学校卒業後、堂本印象に師事し、日展を主な作品発表の場として活躍しました。大自然の雄大な景観や、四季折々の光景をみずみずしい感覚でとらえたその作品は、今日もなお多くの人々を魅了しています。今回のコレクション展Iでは、岩澤の没後10年を記念し、その画業の歩みを振り返るとともに、所蔵品の中から様々な手法で自然をとらえた作家たちの作品の数々を紹介します。



岩澤重夫《嵐》1973年



岩澤重夫《嵐》1978年

開催期間  
4/5(金)~6/4(火)  
前期...4/5(金)~5/7(火)  
後期...5/9(木)~6/4(火)  
▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室  
ギャラリー・トーク  
4/14(日)・28(日)・5/12(日)・26(日)  
各日14:00~15:00  
プレミアムフライデー ギャラリー・トーク  
4/26(金)・5/31(金)  
各日17:00~18:00  
※予約不要・要観覧券  
※5/8(水)は一部展示替えのため休展

## コレクション展 I・II 共通

【時間】10:00~19:00 ※金・土曜は20:00まで（入場は閉館の30分前まで） 【料金】一般300(250)円/大学生・高校生200(150)円 ※（ ）内は20名以上の団体料金、中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※高校生は土曜に観覧する場合は無料 ※県内の小学・中学・高校生（これらに準ずる者を含む）とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者（1名）は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください 【問】大分県立美術館 Tel:097-533-4500